

外部用

令和5年2月
鳥栖市教育委員会
定例会議事録

鳥栖市教育委員会

鳥栖市教育委員会 議事要旨

1 会 議 名

教育委員会 2月定例会

2 開 催 日 時

令和5年2月15日(水) 9時00分開会 10時30分閉会

3 開 催 場 所

鳥栖市役所 3階第1委員会室

4 会 議 の 公 開

公開

5 出 席 委 員

佐々木教育長、古澤教育長職務代理者(委員)、戸田委員、森田委員、大石委員

6 出席事務局職員

小柳教育部長、佐藤教育総務課長、古賀学校教育課長、犬丸学校給食課長兼学校給食センター所長、牛嶋生涯学習課長、日吉学校教育課参事兼課長補佐兼指導主事、立石学校給食課参事兼課長補佐兼学校給食センター係長、久家生涯学習課参事、長野学校教育課長補佐兼インクルーシブ教育推進係長、豊増生涯学習課長補佐兼生涯学習推進係長、城島教育総務課総務係長、辻教育総務課教育支援係長、島生涯学習課文化財係長、中溝生涯学習課図書係長、大庭生涯学習課文化財担当係長

7 傍 聴

0人

8 経 過 報 告

1月定例会以降の経過報告

9 議 事 録 承 認

1月定例会の議事録承認

【承認】

10 議案

- 議案第1号 議会の議決を経るべき議案の原案について
(令和4年度鳥栖市一般会計 教育委員会所管3月補正予算)
- 議案第2号 議会の議決を経るべき議案の原案について
(令和5年度鳥栖市一般会計 教育委員会所管当初予算)
- 議案第3号 鳥栖市育英資金奨学生の選考について
- 議案第4号 鳥栖市放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正について
- 臨時代理報告第1号 議会の議決を経るべき議案について
(令和4年度鳥栖市一般会計補正予算 教育委員会所管1月補正予算)

11 協議報告事項

- (1) 第2次鳥栖市子ども読書活動推進計画について

12 今後の予定等

教育委員会関連の主な行事について報告

13 次回会議予定

教育委員会3月定例会 令和5年3月8日(水) 8時30分から

○佐々木教育長

ただいまから、教育委員会2月定例会を始めます。議事に入ります前に、今回提案しております、議案第1号と議案第2号議会の議決を経るべき議案の原案として、それから、議案第3号鳥栖市育英資金奨学生の選考につきましては、奨学金貸付け申請者に係る個人情報に伴う内容があること、更に、議案第4号鳥栖市放課後児童健全育成事業の整備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正につきましても、議会の議決を必要としております。つきましては、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第14条第7項の規定により、非公開での審議を提案したいと思いますが、よろしいでしょうか。

○各委員

異議なし。

○佐々木教育長

異議なしでございますので、議案第1号から第4号までについては非公開で審議することに決しました。それでは、経過報告をお願いします。

○佐藤教育総務課長

(資料に基づき説明)

○佐々木教育長

経過報告についてご質問等ありましたらお願いします。

○大石委員

2月11日に図書館関係の行事が2つありますが、参加人数は分かりますか。

○鳥生涯学習課文化財係長

2月11日の古文書講座につきましては、参加人数が22名となっております。

○中溝生涯学習課図書係長

図書館おすすめ講座『えびす像から長崎街道を学ぶ』につきましては、参加人数36名となっております。

○大石委員

11日の図書館おすすめ講座『えびす像から長崎街道を学ぶ』は私も行こうと思っていたのですが、行けなくて残念でした。機会があれば、ぜひ行きたいと思っております。

○佐々木教育長

他にご質問等無いでしょうか。無いようでしたら、次に進みます。

次に、議事録承認については、お手元にありますように別冊でまとめていただいております。誤字等修正がある場合は、事務局へご連絡をお願いします。それでは、議案に入ります。議案第1号から第4号までについては、冒頭非公開により行うことを決定しておりますので、非公開で行います。

[非公開]

議案第1号 議会の議決を経るべき議案の原案について (令和4年度鳥栖市一般会計 教育委員会所管3月補正予算)

(非公開で審議後、第1号議案は原案のとおり承認された。)

議案第2号 議会の議決を経るべき議案の原案について（令和5年度鳥栖市一般会計 教育委員会所管当初予算）

（非公開で審議後、第2号議案は原案のとおり承認された。）

議案第3号 鳥栖市育英資金奨学生の選考について

（非公開で審議後、第3号議案は原案のとおり承認された。）

議案第4号 鳥栖市放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正について

（非公開で審議後、第4号議案は原案のとおり承認された。）

○佐々木教育長

臨時代理報告第1号議会の議決を経るべき議案について（令和4年度鳥栖市一般会計教育委員会所管1月補正予算）について、説明をお願いします。

○牛嶋生涯学習課長兼図書館長

（資料に基づき説明）

○佐々木教育長

事務局からの説明が終わりましたが、ご質問等ないでしょうか。無いようでしたら、協議報告事項のほうに移ります。第2次鳥栖市子ども読書活動推進計画について事務局から報告をお願いします。

○牛嶋生涯学習課長兼図書館長

（資料に基づき説明）

○佐々木教育長

委員の皆様から何かご質問等ありますでしょうか。

○大石委員

とてもいい取組だなと思いました。GIGAスクール構想が一気に加速したことで、教育現場のICT化が進んでいき、佐賀県は日本全国と比較してもトップクラスだと思います。しかし、電子黒板等が配置された背景もあり、読書する機会が減ってきている懸念があります。これに伴い、P12（2）に記載されていますが、子どもたちは字は読めると思うのですが、文章の意味を読み取る読解力がなくなりつつあると思います。ICT化の良い点は、広く浅く情報を知ることが出来る部分だと思いますので、読書を通して、子ども達に文章の理解力や読解力を今のうちにしっかりと身に付けていただきたいと強く思ったところであります。P17の教科「日本語」についても、本市は早い段階で取組が始まっていて、地域や郷土、国家を愛する気持ち等々について学べるということで、とても良い取組みだと思います。例えば、紙芝居やわらべ歌などは、子ども達が触れる機会はなかなか少ないので、19ページにあるような、ボランティア団体に各小学校で読み聞かせをしていただいていると思うのですが、金銭的な問題でなかなか継続が難しいボランティア団体がいらっしゃると思いますので、各学校を通して、ボランティア団体の実情について把握していただくことで、今後の積極的な支援につなげていただきたいと思います。わらべ歌についても、例えば、市内の保育園ではコダーイ保育などの保育方針があると思いますので、わらべ歌について積極的に取り入れている団体にご協力を仰げ

れば、より良いものになるのではないかと思います。

○牛嶋生涯学習課長兼図書館長

ありがとうございます。我々もボランティア団体に対する実状について、積極的に情報収集も行いながら、今後の支援に活かしていきたいと考えております。

○戸田委員

学校図書館のことについて、お尋ねしたいと思います。学校図書館の様々な取組の一つに、蔵書を充実させることがあると思うのですが、現時点における、小中学校の蔵書環境について教えていただけますでしょうか。年間の図書購入費などが、どれぐらいの水準にあるのかなど教えていただきたいです。自治体によって生徒1人当たりで見ると図書購入費にかなり差がある報道等を見たことがあります。鳥栖市の場合、図書購入費がどのぐらいの水準にあるのか、分かれば教えていただきたいと思います。

○辻教育総務課教育支援係長

図書購入費の詳細については、具体的な数字を持ち合わせておりませんので、後ほどご説明をさせていただきたいと思うのですが、市の予算では「備品購入費」という形で、小学校8校と中学校4校分ついております。各学校の生徒数などに応じて配当していただき、各学校の判断で購入しております。学校によっては備品を重点的に購入するなど、対応は様々でございますが、どこの学校もある一定数の図書を購入されていると伺っております。具体的な数字は後ほど資料をお渡ししたいと思っております。

○古賀学校教育課長

各学校におきましては、司書補によって蔵書率を割り出しております。学校で入替え等を行った直後は古い本の廃棄作業によって、自然と蔵書率は下がってしまいますが、最終的には100%近くの蔵書率になっていたと記憶しております。

○牛嶋生涯学習課長兼図書館長

図書館の図書購入費用については、大体毎年1,280万円ほどの予算を確保しているところでございます。

○戸田委員

図書館における図書購入に充てる費用は市民あたりで見ると、他市比較で高いのか若しくは低いのか分かりますか。

○牛嶋生涯学習課長兼図書館長

すみません。資料を持ち合わせておりません。

○古澤委員

課長の御説明の中で、年齢が上がるにつれて読書量が減っていく傾向にあるため、読まなくなるというお話がありました。資料編P4のアンケート調査結果のところでは答えが出ているのかなと思いますけれども、本当に読書に魅力を感じているのであれば、空き時間に読書をすると思いますので、子ども達の読書に対する意識が少し薄いというのが根本にあるのではないかと感じております。担当課としてはどのように分析、把握をされているのでしょうか。

○牛嶋生涯学習課長兼図書館長

ご指摘のとおり、本の魅力などを子ども達を感じているのであれば、空き時間などで優先して本を読んでもらえると我々も感じております。本の魅力などを子ども達

に理解していただくには、幼少期などで家庭や地域で本に親しむ環境づくりをしていくことが非常に重要だと考えておりますので、具体的な取組として家読の推進などを計画に掲げさせていただいております。

○古澤委員

今回の資料を作成するのに、随分とエネルギーを割かれたらと思います。大石委員もお話しされていましたが、読解力が非常に大事だと昔から言われております。数学の問題を解くにしても、設問の意味を正しく理解していないと解けませんので、読解力は他の分野にも影響が出てくる大切な分野だと思いますので、これからもしっかりと大切さをお伝えしていただければと思います。

○大石委員

戸田委員がお話しされた内容に重複する部分があるのですが、各小学校の図書室の本を充てる予算について、昔は各校同額ぐらいだった記憶があるのですが、児童数に合わせて予算額が変動している話を聞いたことがあります。その様な考えも一理あると思いますが、実際に予算額を決める際の検討材料として、読書率も考慮していただきたいと思います。児童数はとても少ないが読書率はとても高いような学校が新しい本を買えないような状況は望ましくないと思いますので、読書率を踏まえた上で、予算額を考えていただけるとありがたいと思いました。

○佐々木教育長

図書購入については、学校教育課と教育総務課が関係部署になると思いますので、今後の対応を含めてよろしく申し上げます。今後、デジタル図書と文字図書のバランスが大事になってくると思います。他に質問が無いようでしたら、次に進みます。今後の予定について説明をお願いします。

○佐藤教育総務課長

(資料に基づき説明)

○佐々木教育長

今後の予定についてご質問等ないでしょうか。無いようでしたら、これをもちまして、教育委員会2月定例会を終わります。皆さんお疲れさまでした。